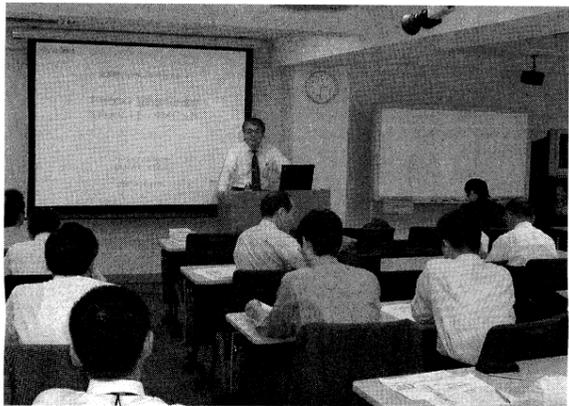


# アカウント型商品の特長を解説

## 第6回 アカラックスセミナー 約50名が参加



アカラックス(株)は、十一月七日、東京・千代田区のANJOインターナショナル東京本部で第六回アカラックスセミナー「アカウント型商品の仕組み」そのメリット・デメリット」を開催した。このセミナーには生保営業に携わる代理店や保険会社の社員約50名が参加。講師の同社代表取締役社長の坂本嘉輝氏により、アカウント型商品や、最近発売されたユニバーサル保険などが各社の約款に基づいて説明され、それぞれの特長や、今後の課題について二時間にわたり解説された。

### 普通預金機能と 決済機能持つ商品

アカウント型保険商品 ニバーサル保険についてとってはどんなものがあるのだろうか。

### 積立金の平均利回りに注意

### 各社で異なる主契約の仕組み

明治生命の「ライフアカウントL.A.」(以下、L.A.)、住友生命の「ライプ・ワン」、三井生命の「ザ・ベクトル」、朝日生命の「保険王」などがアカウント型保険商品だが、今回のセミナーでは、これらの商品(他に、第一生命の「堂々人生」、東京海上の「超保険」、さらに最近発売されたアリコジャパンの「ISユニバーサル」、スカンディア生命の「投資型ユニバーサル保険」などのユニバーサル保険)について、最低保証利率は三年ごとに見直しを行い、

では、それぞれ各社の商品にはどういった特長がみられるのだろうか。まず、明治生命の「L.A.」では、主契約は利率変動型の積立終身保険で、適用利率は三年ごとに見直しを行い、最低保証利率は三年ごとに見直しを行い、

この主契約に死亡保障関係の特約を付加したものを「ライプアカウント」と呼び、医療関係の特約を付加したものを「メディカルアカウント」と呼んでいる。住友生命の「ライプ・ワン」では主契約の内容は「L.A.」と同じ。ただし、約款に積立金の計算方法について記載があり、払い込まれた保険料の1%が控除され、その残額について適用される利率で積立金の計算がされる。

朝日生命の「保険王」では、主契約部分は利率変動型終身保険と適用利率は毎年見直し、最低適用利率は1.5%となっている。保険期間が第一保険期間と第二保険期間に分けることができる点。第一生命の「堂々人生」はアカウント型の商品ではないが、アカウントに近い機能を持っている。主契約は五年ごと利配当が付加されており、主契約は五年ごと利配当が付加されており、

東京海上の「超保険」では、正式名称は総合保険とシンプルなもの。保険料の口座が充当口座と積立口座に分かれており、

# ユニバーサル保険も詳細に分析

はそれぞれペットネーム 難である。

亡保障に必要な費用として、積立金の0.45%が控除され、死亡保障(積立金相当額)、災害死亡保障(積立金の1.5倍相当額)が付加されており、

を一本化する意味は、更新型の十年定期の積立金は解約返戻金がほとんどゼロ(理論上の数値はマイナスになることもある)だが、一本の契約に返戻金を計算することになる。つまり、この保険の場合、付加する生存給付金の厚みで解約返戻金の率が異なることになる。

基本的な商品構成として、アカウント型の主契約部分(積立終身保険)のケースが多いが、銀行の普通預金の機能を果たし、保険料をためながら、各特約保険料や、同一契約者で他社契約の保険料を払い込むといったため、比較することも困難である。

最大の特長としては、主契約に定期保険、減額定期保険、長期生活保障保険、介護・特定疾病保険、介護保障保険、新がん医療保険、特定状態給付保障などの主契約を付加する特約で対応していた保障

第一生命の「堂々人生」はアカウント型の商品ではないが、アカウントに近い機能を持っている。主契約は五年ごと利配当が付加されており、主契約は五年ごと利配当が付加されており、

アカウント型商品の積立金部分は、最低保証利率が低いという点、諸費用を控除した後の実際の平均利回りは最低保証利率よりかなり低いので、実際に契約する場合、この点には注意する必要があるだろう。

### 契約者の理解は十分? コスト開示の動きに注目

アリコジャパンの「ISユニバーサル」は積立利率変動型の保険期間自由設計保険で、1.5%を最低保証とするが適用利率は毎月見直す。死亡

「投資型ユニバーサル保険」の最大の特長は、保険契約関係費用、危険保険料、死亡保障関係費用、資産運用関係費用など、コスト競争が生まれて、保

保険料のダンピングは行われないだろうか。保険市場の活性化を望むこともしていききたい。

### アカウント型保険商品

